

国際数学オリンピックへの挑戦

1. 国際数学オリンピックとは

国際数学オリンピックは、世界の中学生・高校生を対象とした数学コンテストで、毎年7月に開催されています。日本からは毎年6人が代表選手として参加しています。この6名の日本代表は、日本国内での数学コンテストである日本数学オリンピックなどを経て選ばれます。日本数学オリンピックは毎年1月に予選、2月に本選が開催されます。日本代表はさらにその後の3月に行われる代表選考合宿での成績等をもとに、選ばれます。[1]

2. きっかけ

私は、中学生の頃から数学が好きでした。学校での数学の勉強のほかに、数学パズルや少し難しい数学の問題に挑んで楽しんでいました。そうしたところ、学校の数学の先生から国際数学オリンピックというものがあることを教えてもらいました。その問題を見てみましたが、その当時は難しすぎて自分が挑戦するのは無理だと感じました。

しかしその後、....

3. 国際数学オリンピックに向けての取り組み

高校に入学後、高校の数学研究部に加入しました。そこで、同じく国際数学オリンピック出場を目指す友人らと共に数学に取り組む日々に明け暮れました。

国際数学オリンピックの問題は、いくつかの種類に分類されます。これらの種類ごとに考え方の基本を検討し、解法を研究しました。...

私は特に整数論の問題が好きで、得意でした。整数論の問題について独自に研究を進め、より深い理解を目指しました。部内で整数論の問題となると私が一番という状態になり、下級生のときから部内で問題解説するようになりました。...

...

こうした数学研究部の活動は非常に有意義なものでしたが、ほとんどの時間は自分でじっくり考える作業でした。そうして考えた内容を研究部メンバーの友人に説明したり議論することで、自分の理解を深めていけるということも体感しました。議論の相手は普段は高校生のメンバーでしたが、ときどき高校の教員にも議論に加わっていただくこともありました。その際には、また違った視点からのコメントをもらうことができ大変ありがたいものでした。

4. 日本数学オリンピックへの挑戦

〇〇年1月、いよいよ国内予選である日本数学オリンピックの予選に出場しました。当日は、…。結果としては幸い、2月の本選に進むことができました。

2月の本選では、…でした。結果として、3月の代表選考合宿に参加することが認められました。

3月の代表選考合宿は、〇〇など新たに学べたことが多々あり、たいへん刺激に満ちたものでした。また、他校の参加者等と交流できたことも楽しい思い出となりました。

代表選考合宿の結果、私は日本代表の一人に選出されました。たいへん嬉しく感じました。

5. 国際数学オリンピックへの出場：夢の舞台にて

20xx年7月に〇〇で開催された国際数学オリンピックに、日本代表の一人として参加しました。当日は、…。

問題は、次のようなものでした。…。私の好きなタイプの問題が多く、嬉しくなりました。

〇〇の問題は□□というものでした。

…

△△の問題は、☆☆というものでした。これについては、以前からよく検討していたものに類似しており、…と考えることでうまく解くことができました。

…

…

最終結果は〇〇で、たいへん満足できるものでした。これまで支えてもらった数学オリンピック財団の皆さん、指導していただいた先生方、先輩方、同期の皆さん、数学研究部の友人達、研究部顧問の〇〇先生、そして家族などの面々の顔が頭に思い浮かび、なんとも言えない感情を覚えました。

6. 今後について

東京科学大学に入学することができたら、〇〇をしたいと考えています。まずは〇〇をし、その後〇〇に向けて頑張りたいと思います。さらにその先は、〇〇を考えたいと思っています。国際数学オリンピック出場の経験は、これらの取り組みに対して大いに役立つだろうと思っています。入学後がたいへん楽しみです。

7. まとめ：国際数学オリンピック出場で得たもの

中学生の頃、国際数学オリンピックへの出場を夢見て始まった私の挑戦は、単に出場するだけでなく〇〇という結果も得ることができ、最高の形で終わることができました。国際数学オリンピックへの私の活動はこれで一区切りとなりましたが、数学に対する私の取り組みはこれで終わりではないなという思いも、また同時に強く抱きました。

…

…

参考資料

[1] 公益財団法人 数学オリンピック財団 ホームページ